

スローピッチソフトボールの基本的なルール

扶桑町ソフトボール協会

◆ プレイヤーと交代

- ① チームは10人または、EHを採用した時は11人編成し、守備は10人で行い、打撃は11人全員が行う。10人目の守備位置は「SF」と記入する。
- ② EHは打撃専門の選手で守備につくことはできない。EHを採用する場合は打順表に記載し、1試合を通して採用し、同じ打順でなければならない。
- ③ EHはいつでも代打、代走者と交代ができ、交代した選手が次のEHとなる。
- ④ EHを含めスターティングメンバーであれば、一度に限り元の打順に戻って再出場できる。
- ⑤ プレイヤーが10人（EHを採用したら11人）より少なくなると没収試合となる。

◆ 投球

- ① 投球開始時間は両足を地面につけ、片足か両足が投手板に触れていなければならない。
- ② 身体の前面を打者に向け1秒以上10秒以内の静止をする。（球は片手で保持してもよい）
- ③ 投球は一連の動作で、途中で停止や逆モーションでの投球をしてはならない。
- ④ 球が手から離れるまで軸足をプレートから離してはならない。自由足の踏み出しは一步で前方でも横でも後ろでもよい。
- ⑤ 投球は適度なスピードで地面から1.5m以上、3m以下の高さでアーチを描くように投げなければならない。
- ⑥ 準備投球は初回及び投手交代時が3球以内、次回からは1球以内とする。
- ⑦ ストライクゾーンは本塁の上方空間で、自然な打撃姿勢での捕手側の肩と両膝の位置である。

◆ 守備

- ① プレイヤーは故意に打者の視界内に位置したり、スポーツマンらしくない行為で打者を惑わせてはならない。
- ② 捕手は投球を捕球後、速やかに投手に直接返球しなければならない。
- ③ 投手が投球動作中に手から球がスリップした時は、ボールデットで無効投球となる。
- ④ 捕手は、プロテクターとレガースを着用しなければならない。

◆ 打撃

- ① 投球が地面についてからの打撃はボールデットで1ボールである。
- ② 投球がストライクゾーン外で打者に触れても死球ではなく、1ボールである。
- ③ バントやチョップヒット（打球を高く弾ませるため地面に叩きつける打法）は、不正打撃で打者はアウトでボールデットとなる。
- ④ 2ストライク後の打球がファールボールの場合、打者はアウトとなる。

◆ 走塁

- ① 投球が打たれない限り、走者はどのような条件においても進塁できない。（打撃前の離塁はアウトで無効投球となる）
- ② 四球はボールデットで、故意四球も球審に申告して行うことができる。
- ③ 投球が打たれなかった場合や、地面や本塁に投球が触れた時点でボールデットとなる。

スローピッチは打撃を楽しむものです。打てる球は積極的に打って楽しんでください。